

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
福祉サービスの組織と経営 Organization and Administration of Welfare Service		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修 社会福祉主事任用資格に係る科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
吉田 志保	本館3階	授業時に説明します。		授業中に指示します
授業の概要				
福祉サービスに係る組織や団体（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人（NPO）、市民団体、自治体）などについて理解し、運営管理などのマネジメントについて理解する。				
授業の目標				
①福祉サービスに係る組織や団体について学び、役割や実際について学ぶ。 ②福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について学び、理解する。 ③福祉サービス提供組織の経営と実際について学び、その財源について説明できる。 ④施設職員のクリニカルラダーやスキルアップ研修企画について立案できる。				
授業の方法				
アクティブラーニングの手法を用いて、事例教材を通し、福祉サービスの組織と運営管理についてその仕組みを理解する。施設職員のクリニカルラダー作成やスキルアップの研修企画等を実践する。				
学習の成果（学習成果）				
①福祉サービスに係る組織や団体について説明することができる。 ②福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について説明することができる。 ③福祉サービス提供組織の経営と実際について学び説明することができる。 ④施設職員のクリニカルラダーやスキルアップ研修企画について、立案することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 福祉サービスにおける組織と経営			
第2回目	福祉サービス制度と経営			
第3回目	福祉サービスにかかわる組織や団体（1）（社会福祉法人）			
第4回目	福祉サービスにかかわる組織や団体（2）特定非営利活動法人、その他の組織・団体			
第5回目	福祉サービスの組織と経営の基礎理論（1）			
第6回目	福祉サービスの組織と経営の基礎理論（2）集団の力学に関する基礎理論			

第7回目	福祉サービスにおける運営管理（1） 【外部講師：株式会社トゥルーケア取締役 平野茂宏 氏】 （課題：レポート8回提出）	
第8回目	福祉サービスにおける運営管理（2） 前回の講座の振り返り（課題レポート提出）	
第9回目	福祉サービスの管理運営の方法（1） サービス管理	
第10回目	福祉サービスの管理運営の方法（2） 苦情対応とリスクマネジメント【演習：グループワーク】	
第11回目	福祉サービスの管理運営の方法（3） クリニカルラダーの作成【演習：グループワーク】	
第12回目	福祉サービスの管理運営の方法（4） クリニカルラダーの作成【演習：グループワーク】 発表	
第13回目	福祉サービスの管理運営の方法（5） 人材育成【演習：グループワーク】	
第14回目	福祉サービスの管理運営の方法（6） 人材育成【演習：グループワーク】 発表	
第15回目	福祉サービスの運営管理の方法（7） 会計管理と財務管理 まとめ	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。常に分析をする視点を持つこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業への積極的参加（遅刻・私語・居眠り等は厳禁）を評価する。ノートをきちんととり、不明な点があれば積極的に質問する等。
レポート	20%	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。
調査報告書		
小テスト		
試験	60%	試験を行い評価する。課題を十分に考察して解答しているかにより評価する。解答は根拠（エビデンス）に基づき自分の言葉で述べられている。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「福祉サービスの組織と経営」（中央法規） 授業担当より適宜資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（職種：社会福祉士（生活相談員）、介護支援専門員（ケアマネジメント） 職歴：通算4年1ヶ月） 社会福祉士国家試験受験資格取得の為に必修科目である。高齢者・障害者福祉関連科目を十分に学習することが本授業の理解につながる。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。		